

STITCHLESS

This will be the most comfortable notebook you have ever run into. You will feel like writing with it all the time.
The best quality goods always make you happy. Manufactured by Kyokuto note co.,ltd.

NOTEBOOK

④ 観測所日誌(7)

1991.12 ~

1991.12.13 ~ 1996.12.15

A 普通野

KYOKUTO SL5A・50枚

Schedule

	1	2	3	4	5	6
MONDAY	SUBJECT					
	ROOM					
	INSTRUCTOR					
TUESDAY	SUBJECT					
	ROOM					
	INSTRUCTOR					
WEDNESDAY	SUBJECT					
	ROOM					
	INSTRUCTOR					
THURSDAY	SUBJECT					
	ROOM					
	INSTRUCTOR					
FRIDAY	SUBJECT					
	ROOM					
	INSTRUCTOR					
SATURDAY	SUBJECT					
	ROOM					
	INSTRUCTOR					

1991. 12. 13. ~ 15

市村

書き初めは市村です。

今回は、前回の自動車の故障にこりてしっかりと整備してからやってきましたが、内心、七夕七夕ものです。新車が欲しい！
埼玉は晴れているようですが、ここは雲が多いようです。
しかし冬型も峠を越したらいいので、少しは回復するのではと、期待しています。

毎年恒例の、テストの採点、今年も持って参りました。しかし思うようには進みません。追われる雰囲気が必要なかも。

え程、テレビで「ひかりひかり島」をやっていました。
なつかしい。と思うのは、私の世代だけでしょうか。実になつかしい。

1992年の正月は、誰がやって来るのでしょうか？
もちろん、市村は来ます。ここで年を越すなや！
予定では、12/29か12/30にやって来ます。
でも4日くらいはと飽き死んでますよね。
私も写真撮るうかなあ...

昨夜の気温は、 -8°C くらいだったようです。いよいよ、本格的な冬の到来です。健康には気を付けましょう。田中さんのように、走り回って観測家は、寒さ知らずなのでしょうか。5本のシミットのためには、体カパッポを自分でなければ、いけませんね。じつと精神を集中して頑張っている私としては、寒さは天敵。対策を考えよう。

夜半過ぎの観測のために、今から寝ようと思います。月の入り日、10時50分とのことですので、11時くらいまで、ねまらぼう。

1991年12月27日~28日

高橋

書き2度目は高橋です!

東京は、初雪、大雪警報が発令されました。そして今年最大の渋滞の中、首都高を4時間かけて三郷へ。常磐道は50k規制の為、3時間で勿来に着いたのです。勿来で晚饭、疲れをいせし観測所に向ったのですが、雪の中で車はストップ。チェーンを装着、ようやく23時に到着。とても疲れたので寝ることにする。外は銀世界、室温は-2°C、星がいろいろに? 星は出ていない。

お休みなさい.....

いったい何をしに来たのかと疑問を持たれる方もいると思うので、理由を記しておく。今回の目的は毎年恒例の正月の海産物を小品決で受け込むこと。そして海の幸もタラフク食へることなのです。それから、温泉に入って星が見えたらいいな.....とみくぼ、27日のことです。みくぼ、た目的は実現できなかったことになりました。

今回の運は、2名。どちらも物理学科の4年生ということで、現在まとめている卒論の概要を発表してもらうことになった。発表内容は次の通りです。

- 相対論と量子論
- 水星の近日点移動
- 矩形内の温度分布 (高橋)

今回来てくれた方

私は、物理の学生なので何を話そうかと考えた結果、寒いので懸念がいろいろあったので、矩形内の温度分布について講義することにしました。

講義ノート(根号)と次に示しておきます。また、学生の発表概要は来訪者日記に示してあるのでご覧下さい。

冬の夜は長いですが、充実した一夜でありました。

来年も良い年になりますように.....

矩形内の温度分布(二次元)

$$\frac{\partial^2 \theta}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 \theta}{\partial y^2} = 0$$

$$\theta = e^{\alpha y + \beta x}, \quad \alpha^2 + \beta^2 = 0, \quad \beta = \pm i\alpha$$

$$C_1, C_2 \text{ を定数とすると } \theta = C_1 e^{\alpha y} \cos \alpha x, \quad \theta = C_2 e^{\alpha y} \sin \alpha x$$

$$C_0 \text{ を定数とすると } \theta = C_0 e^{-\frac{\pi y}{b}} \sin \frac{\pi x}{b}$$

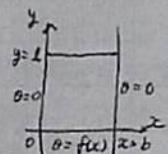
$$x \text{ 軸上に与えられた } f(x) \text{ を } f(x) = \sum_{n=1}^{\infty} a_n \sin \frac{n\pi x}{b} \quad \leftarrow \text{Fourier 級数展開}$$

$$\theta = \sum_{n=1}^{\infty} a_n e^{-\frac{n\pi y}{b}} \sin \frac{n\pi x}{b}$$

y=lにおいてP.R.S.T.、幅b、高さlの矩形で与えられると

$$\theta = C_0 \sin \frac{n\pi x}{b} \sinh \frac{n\pi(l-y)}{b}$$

$$\theta = \sum_{n=1}^{\infty} a_n \sinh \frac{n\pi(l-y)}{b} \cdot \coth \frac{n\pi l}{b} \cdot \sin \frac{n\pi x}{b}$$



矩形の全周の温度分布が与えられ、円柱内の温度分布は

$$\xi = -i \log \frac{z}{r_0}$$

$$\xi + i\eta = i \log \frac{z+i\eta}{r_0}, \quad z = x+iy = r e^{i\varphi} \quad \text{とすると}$$

$$\xi = \varphi, \quad \eta = \log \frac{r}{r_0}$$

$$f(\xi) = \sum_{n=1}^{\infty} a_n \sin n\xi + \sum_{n=1}^{\infty} b_n \cos n\xi + b_0$$

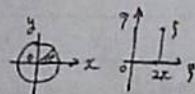
$$\theta = \sum_{n=1}^{\infty} e^{-n\eta} (a_n \sin n\xi + b_n \cos n\xi) + b_0$$

$$\theta = \frac{1}{2\pi} \int_0^{2\pi} \left(1 + 2 \sum_{n=1}^{\infty} e^{-n\eta} \cos n(\xi - \xi') \right) f(\xi') d\xi'$$

$$= \frac{1}{2\pi} \int_0^{2\pi} \frac{(1 - e^{-2\eta}) f(\xi') d\xi'}{1 - 2e^{-\eta} \cos(\xi - \xi') + e^{-2\eta}}$$

xi, eta のかわりに, phi とすると

$$\theta = \frac{1}{2\pi} \int_0^{2\pi} \frac{(r_0^2 - r^2) f(\varphi') d\varphi'}{r_0^2 - 2r r_0 \cos(\varphi - \varphi') + r^2} \quad \text{よって円柱内の温度が与えられる}$$



矩形柱内の温度分布は、 α, β を定数とすると

$$\theta = \sin \alpha x \cdot \sin \beta y \cdot \exp(\pm \sqrt{\alpha^2 + \beta^2} z)$$

$$\theta = \sin \alpha x \cdot \cos \beta y \cdot \exp(\pm \sqrt{\alpha^2 + \beta^2} z)$$

矩形柱内の温度は

$$\theta = \sum_{m=1}^{\infty} \sum_{n=1}^{\infty} \exp\left(-\pi z \sqrt{\frac{m^2}{d^2} + \frac{n^2}{b^2}}\right) A_{mn} \sin \frac{m\pi x}{d} \cdot \sin \frac{n\pi y}{b}$$

$f(x, y) = \theta_0 = \text{const}$ のとき

$$\theta = \frac{16\theta_0}{\pi^2} \sum_{m=1}^{\infty} \sum_{n=1}^{\infty} \exp\left(-\pi z \sqrt{\frac{(2m+1)^2}{d^2} + \frac{(2n+1)^2}{b^2}}\right) \times \frac{\sin \frac{(2m+1)\pi x}{d} \cdot \sin \frac{(2n+1)\pi y}{b}}{(2m+1)(2n+1)} \quad \text{とある}$$

高さ l の矩形柱で $z=l$ の面の温度が $\theta=0$ のときは

$$\theta = \sum_{m=1}^{\infty} \sum_{n=1}^{\infty} A_{mn} \frac{\sin k\pi(l-z) \sqrt{\frac{m^2}{d^2} + \frac{n^2}{b^2}}}{\sin k\pi l \sqrt{\frac{m^2}{d^2} + \frac{n^2}{b^2}}} \sin \frac{m\pi x}{d} \cdot \sin \frac{n\pi y}{b} \quad \text{とある}$$

12月29 ~ 30 ~ 31

市村

今年の入所者の最後は、私かもしれません。
 前回、正月は、ここでむかえるとき書いてしまいましたが、家庭の事情で、少し難しくなりました。年越しは、千葉の私の家で、父と子(私のこども)と久しぶりの村面をかねて、したいと思います。何を隠そう、父子家庭となつてしまった(逃げられたわけじゃない!!)私は、家事を逃げるために、両親のこころへ 帰省するわけです。
 12月下旬から、ず~~~~と、主夫業をやっていたが、こころに疲れました。一族に、病人が出るというのは、大変なことだと、つくづく思いました。夕方の空に、新彗星が出たようですが、今は、それどころではない、という感じでした。(田中さん、だい ありがとうございました。)

左の高橋さんへのページは、昔を思い出させる、イヤな記号ばかりです。ロースの世界とはちがって、パトスの住人は、ほとほとに、あつたかければいいということで、温度分布は、適当に、ほびよければ、いいのです。それにしても、毎年、よい年来を過ごしていきようぞい。

今回の入所は、金沢、雪と凍結のため、スタッドレスタイヤでも、あつたないところか、けっこうありました。やはり、な~んも必要というにはしようね。

天気の方は、冬型の気圧配置のせいか、あまりよろしくない。晴れていなのに雪が降る。雲が流れる。快量に当たります。寒すぎる。今夜は、夕方の彗星を見たら、帰ろう、と思えます。(しかし、今、雲、多い)

それでは皆さん、よいお年を!
 充実した1年でありますように。

c. 書いたら、突然、田中氏が現れた。
 今日(30日)帰る日は、せめて、今夜もやぶこにいた。

朝5:30。田中さんは寝ている。埼玉へ帰りませう。浮世の義理こそ。

1991年 12月30日~31日

天気が朝→吹雪
月温 -4℃

田中

今回が、1991年の最後の来所となる予定。
12月23日に「ザノック」ブッシュライトにガ発見された。9年との
こと。満月の2日後の西空での発見。さらに、12月には行く
出る場所である。しかし、いさか座での発見だ。眼視観測
の競争は相変わらず。厳しそう。

さて、今回は、上記の彗星の他、増光した $\phi/\delta-w-1$ を
検出された ϕ/γ の2のチェック、そして、いよいよ
1992年最大の彗星となるかも(かもしれない)。P/Sイット・タ・ル
の大サーベイを予定してきたが、22時が23時ごろまで
一時晴れたものの、その後吹雪となり、まったく何も
できず。

どうしても31日は帰京しなくてはならないので、再訪
は1992年1月2日と3日になるが、今年はお天気が
雪が多いかも(かもしれない)。ここ数年、ここには正月に
積もった雪を見たことがなかったのに、今年はもう5センチ
ほど積もっている。

いさか観測所も1992年で9年目。観測所日誌も
7冊目になった。

田中先生も2月9日に結婚して引退とのこと。

それぞれの生き方があって「はうが」たまには観測所で
会えるで「はう」。他のメンバーもなるべく多く来て欲しいものです。

1992年が観測所メンバーにとって良い年となりますように。

1992年

1992年 1月2日

天気 はれ 気温 -3℃

あけましておめでとうございます。
新年一番のり〜というわけで、12:00ころに羽江に出発して
観測所には16:30ころに着きました。
今日はとても良い天気。明朝まで、ほか〜11時頃星を
見ていらおう... であら、さむい、はらへた... ので急いで

来所者 日誌と見て見ると「~~市村~~」という名前が
市村先生の教子さんですか?
もあまりありません名前ではあつたけど、電話帳をパラパラと
めくると何人いる(同じ市村)かたはいいね。

いまNHKで放送されている「ひまわり」は、後編版で
三ツ村はあつたまま、あとはあつて新しく録り取ったもの
で放送。私もあつたかと思つてます。

田中先生は3日から来るかと思つていたら、今日の夕方に
「あつたか、天気も良いので来た」との事。あつたかみかた
1991年も、17:00ころ明け、1:00ころにイーストに見えました。
そのシャワーおろすまで...

とまたまた書いていますか。今21:13です。1002目を
撮りました。あつたか、JTYを受信できる無線機を
持ってきました。アマチュア用の送信機は免許が必要か
受信のみなら、前にも使用できたので、JTYを受信するだけ
は使えます。使い方は、はつたか、あ、100W機です
から、免許を、お持ちなら、アマチュアの免許が必要です。

1992. 1. 2 ~

田中

1/2 あけましておめでとうございます。
今年もまた観測所でのサーベイがスタートしました。
昨年は約650コマ撮影は1本が収穫は1/2のP/S1カメラ
のライトの後チェックのみでした。今年にははたして
いけき祭の天文電報が世界中に発せられるでしょうか？

1/2 はおおむね快晴ながらも雪雲のため1時間ほど
中断。しかし明け方には絶好の透明度となり東の
地平線にはへいっかいいが横たわっていた。朝焼けも
あつちやうす赤い。

1992. 1. 3 ~ 5

何E. 1. 3 ~ 5 5日の夜まで居りました。
1991g1 は 球状星団M15? に接近。何とか写った。
2. 11 ~ 12 4日の夜はコンスタントでした。風も静かです。
3. 満足な11C 4日間にわたって
しかしつかぬ。この度は1.7 来るかたは
と 5日(5日) 話題の山形産の温泉に行きました。
ま。やっぱりさきり荘の赤い温泉。
1991g1. は 1. 11 ~ 12 見やまいです。2. 11 ~ 12 ちよとて
かすっていると見にくい。あつちやうす赤い。5日(5日) 1. 7.
1991g1 の写真に 3枚の飛行機が写りました。
3. 11 ~ 12 1. 11 ~ 12 飛行機が多い。困りました。
2. 11 ~ 12 1. 11 ~ 12

田中

1/6 昨夜も天も帰って来るは一人。
天も下り坂のようで1/6 午前中は井筒のモニタンス
を行った。
まずスライディング ルーフのグリースぬり。たいがい
軽くはりました。
そして台風19号で飛ばされた。屋根のゴム張りかま
しがい一部破れています。スズメバチの巨大な巣を
時々チェックできるようになっています。脚立に登れば
見ることもできます。

1/11 ~ 12

天気快晴 田中

この週末も天気が良さそうだが、たのて"またやってきた。
雪は品画にはあて4E-2にしては無理だ"だが
幸い屋根には雪が積ってなくて雪まじりをせず
にすんだ。

さて今回のサーベイは黄道付近を明け方の空
中心に行きた。といても、おとめ座銀河団のどま
ん中のどまんなかどまんなかに写ってくれているだろうか？

正月に来られた市村さんが来ていると思いましたが
結局、私一人だけだった。

992. 1. 23-24-25-26. 田中

1/23~24 今回は下弦までには1月~2月のオホポツツコニ(衝)の位置をくまなくサーベイするために4日の予定でやりました。

ここでは(11月)11月から1月までのわずかな月間が観測(サーベイ)好期なので、今回が最後の4か所というわけ。

1/23は夕方から吹雪になり向米へ降りて晴小向を捜したが向米も雪で高速で日立大田まで飛んで行ったが結局大気不安定のための雪ということでR354で里美を通り戻ってきた。しかし夜半から晴小始め結局朝まで月明りの中で撮影した。

1/24 夕方から~~北~~北西のコンプレックス。しかし寒い。温度計は-8~-9°Cを差しておりたぶん今年最低気温だろう。

もっと私の場合は動き回っているのがほとんど気分はいいが。

サーベいは向か向か11月。月を直いかけて。赤程6時から8時まで。今日で終了。明日あたりと晴れてくると予定通りのサーベイが終了のはずが向米が。

1/26

今日で4夜目。そのうちまともに晴小したのは3夜。75%の成功率で"あるが"。数良しとばかりは...

予定して来た衝付近のサーベイは3夜晴小のおかげでほとんど終了。今日は下弦前にサーベイも終了してきた。あとはフィルムの4エックを残すのみ。こゝでこゝからパロコが活動を開始しようとしても機先を制するこゝができた。15等までの移動天体は必ず4エックするつもり。こゝより暗いのはパロコにまかせよう。

しかし毎月このパロコで"まいい"ということはないのだが来月からは花物~~撮影~~が始まるので、また11月までまともなサーベイはお休みに入るかも...

1992 2. 1~2 晴快晴→吹雪 気温-7.0°C 田中

1/31から東京は大雪になり積雪11センチ。その雪の女とは天気が良くなるはずと常盤直の不通開除を待って飛んできた。しかし待っていたのは予想通りものすごい雪だった。田舎カントリー近くに車を置いての深夜のハイキングから始まって、屋根の雪おろしなど大変な作業をこなしながら極めつけはルーフが抜けたことだった!! 結局夜半過ぎから吹雪になったので、7時にダウン。

2/2 夕方はザラッ。グリライントに彗星(1991g1)を4エックして帰る予定

2/11 (水) 建国記念日

市村

法事の田舎へ来た人で、雪の糍子を見に来ました。
やはり、こまごまは、車中からでした。
春休みでT.V.も、夕までT.V.がぬ。

1992. 2. 22~23~24 田中 [redacted]
気温 -7.0℃

満月が過ぎて、またサベイのチキンを食べた。
今日の衝は10hまでだったので、8時から12時までを、
この数日のうちになめつく予定^h
とありますが、この週末(23日)は8時^h 9h 10h30^m
のラインを越えることができた。
明日は雨が雪らしいので、いったん帰京して
また、出はあすことにする。

1992. 3. 17~8-9.

天気 両日とも快晴

気温 -4~5℃

田中 [redacted]

先月の満月過ぎのサベイは結局1夜しかで"きね"かた。
というのも、仕事中に「ぎっくり腰」になってしまい、腰痛
「X」上登こんで、しまったため。
この時期(上登)になると、衝の付近で黄道付近はリュウ
ーカーやリ、望屋さんになめつくされているが「ろうが」。
今回は+40%以上北極近くまでをやることにした。と、い
ても、一晩にラインが、わずか6ラインを越えたにすぎない
とて、6本取、でも全日をなめつくすわけにはいかないので、
が、残念。花柳病は東京で「はんどか」ったが、ここに来ると
また、いじが楽なのは助かる

1992. 4. 25~26

天気 快晴 気温 +9℃

田中 [redacted]

久しぶりの2日 続けたの快晴。
この天気について、冬場のサベイをやってしまった。
4Aから10Aまでは、眼視をやる予定だったが、
今回の日は快晴天と、ついでに写真も撮って、はっ。
あとは、G.W.に2泊の予定だったが、さけてきて、天気は
どうなるか?

1992. 5. 4~5.5.

快晴 いい

市村

ほぼ、3ヶ月ぶりの来所です。
3月から4月にかけて、40日も入院していたため、かなり、ア
ンクがありました。健康を崩しては、来所も手取りません。
退院して、2週間、また通院中ですが、天気がよさそうなので、
ついでに、来てしまいました。やはり、来ただけのこと、は、
ありました。
昨年以來、身内にいろいろ支障ができて、おとくに観測をす
る必要気では無いのですが、少しおつても継続していったら
思っています。
入院中、病院でいろいろのことを考えました。本格的に、手術室へ
運ばれて行くという、テレビドラマのような、スリリングな体験は、
もう二度とたくはないけれど、残り少ない人生を(また、半分た
て、と、思っています! やりたいことが、あつりにも多すぎます)、いかに
生きよかという、やや真面目なことを、考えるようになって、はつたわけ
です。
星を見られるのも、決して長い間ではない、ということ、とりあえず
⑤を、頑張ろう、たんと、思って、はつたわけですね。

今晚は、とりあえず、久しぶりの対面ということに、休むに限り、星を見て行こうと思い、20minの方を見てみました。

朝方、田中マックのビル/壁星を見たら、早く寝ようと思う。

どうせ、今回は、新車のデリカ4WDを平新です。昨年まで、さんさんお目にあっていたので、無理をしいて買換えました。借金が重い!! でも、とてもいいです。病院の駐車場に置いて、外出許可を毎日もらって乗っていました。悪い患者ですネ。

今年も、花粉症の人は大変だったのだろうか?

私は、入院していたので、全く平気でした。当然か!?

さう1時間も、休憩してしまつた。只今、0時35分(5/5)。

あと少し、暖まつたら、もう一度上へ行こう。

どれにしても、寒い。まるで冬だ。それこそ、こんな感じに晴れてくれば、毎週来るのに。

星を見る40歳。

40年ほど、あこいじいさんと思つた頃もあつたけれど、自分が、今年なつちと思つて、じつに不思議な感じがある。いい年になれはいいなあ。

"Stand by me"という曲は、ホントいいですね。映画の印象の方が強いけれど、原作もなかなかのものですよ。生徒に貸してもらったのが、活字の印象というものは、味があるものです。

丁度、1時になる。

来れない人達のぶんまで、見ていこう。

1992. 5. 2~5

2日夜 <曇り> → 快晴
3 " 大雨 → 快晴
4 " 一般中快晴
5 " <曇り>

田中 [redacted]

今年のGWは、わりあい天気が良かった。結局星の見えなかつたのは、5日夜(これがダメだ)だけ。

観測所のすけりは春が一杯だ。木の花は咲きみだしの新芽も、いっせいに出てきた。来週からは毎週、緑が濃くなつてゆくので、いっ

こいで、山の空気を吸い、緑を見て、鳥のさえずりを聞き、そして、星と語りあうのが、何によりの休養となります。今年も良いゴールデンウィークだ、た。

992. 5. 23~24

天気 <曇り、時々雨>
気温 15°C

田中 [redacted]

今回は連発の保守と、台所の内装(ペンキ)塗りのため、来所。曇りと雨のため、星はまったく見えず!!

1992. 5. 27~31: (4泊) 田中 [redacted]

台所と、便所の内装のため4泊もして、た。そのうち晴れたのは、5/9夜の2時間だけ。

1992. 6. 21. (A) 日帰り 田中

30センチ反射鏡と斜鏡の再々、キのため
鏡はずしのため。昼前。甲斐所。

梅雨のため。大雨なのは仕方ないのか？

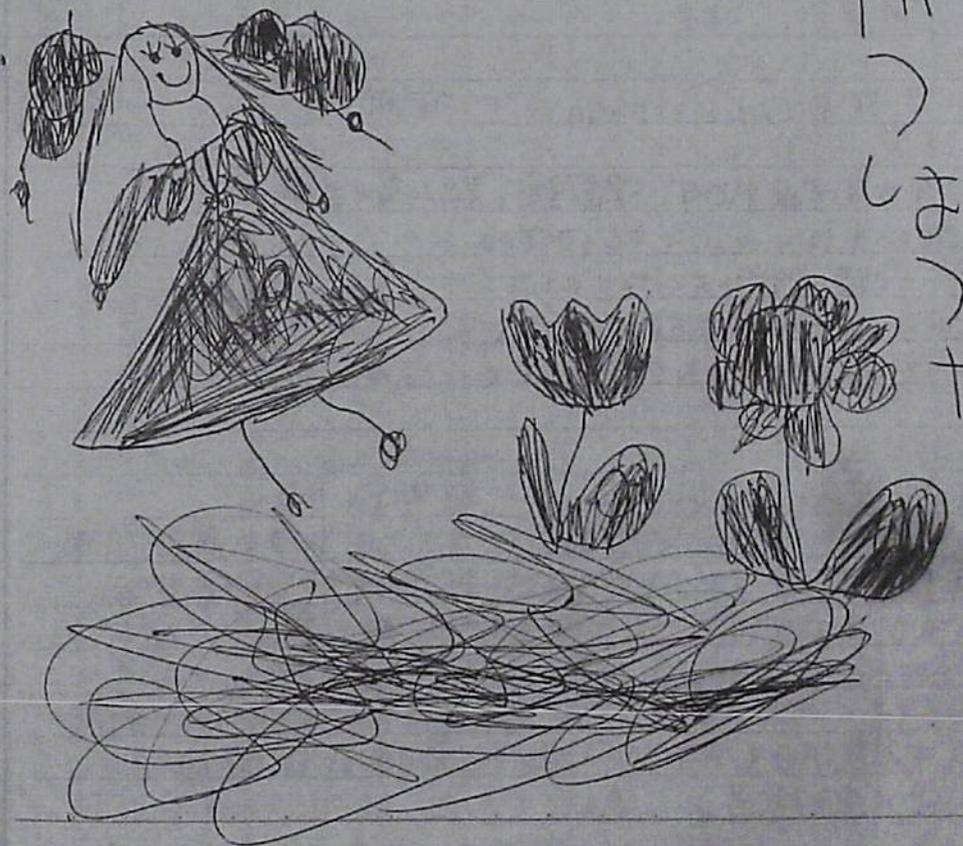
昨日、氏が来て J P 架台を替っていたようだ。

日帰りでも日誌には書いておきますよ。

たみか"た"れい
たみか"た"じゅん

たみか"た"たかみ
たみか"た"たかよ

3
し
く
か
は
う
か



1992. 8. 7. 11-12. 夜 (朝) 時雨

今回は、氏と 12センチ双眼鏡を引き上げる
ためだけの来所。

先月、帰る時に MIL のフアを回して室内ドアを
開け放して帰ったので、今のところ、カビは発生
してはいないようだ。

今回ついでに、氏の 16センチ E と 20センチ MT
も引き上げて、再々、キに出すことにした。
そのため、今使える材料は 15センチ双眼、
20センチ反射 (市村氏所有) だけ。

〇年同月同日
上に同じ

1992. 8. 29-30

天気 曇り

田中

東京地方では好天が続いていたので、新月でも
あるし「こりや山も大丈夫か」とやっきたが、
残念ながら、またしても山の天気であつた。X
秋からのシーズンに期待するしかなさそう。

※ 10%押入れにネズミが出現しました。仕方なく
ネズミ捕り器を買って仕かけましたが、また
捕獲できます。

市村さんたちが4名で今夜来られるとのTEL。
私は明日午後から仕事もあり、天気も回復しどう
もないので、入れかわりに帰ります。
ホットには湯を沸かしてあります。ではまた来月に
でも。

1992. 8. 29-30

天気 曇り(小雨)

市村

棚倉では全くかすまなかったのに、観測所が近づくにつれて、
霧が立ちこめ、前が見えなくなるほどでした。やはり、夏あけの
パターンでした。

昨夜は浄土平で、ほぼ快晴の星見日和。今夜はこれと同じく、
かすと雨で、急転。こちらへ来てきました。

田中さんを追い立てして、たよりで、申し訳ありません。
星は見えなくても、深い風と緑に囲まれて、静かに過ごすには、
ほかほかいい所ですね。たよには夏も果おいか、と思つてしまひます。

1992. 9. 2-3

天気 曇りのち晴れ

高橋

今日は、いわきの双葉層群の巡検のために来ました。明朝早
いので、調査地に近り観測所に宿泊したのでした。ところが24時か
ら空は天の川が見えていたではありませんか、急遽観望会を開催、
M31, M57を観望したところで「かすか!」時刻は1時30分。
まじり、^{M45}睡眠時間がない。初日から計画がくずれて
しまつた。「まあ、天体観測所を宿としたのだから仕方ない」と
諦めて、出発を2時間遅らせることにした。

1992. 9. 10-12

高橋

先週に引き続き、また来ました。台風といっしょに
台風が三陸沖を北上したため、海は荒れ、雨のため、初日は
星が見えませんでした。十分睡眠をとり、朝から老身に
化石採集に出かけました。

いわき市の北、大久川は、双葉スズキユウが発見されたところ
です。この近くに海竜センターがあります。この近くでコバクが
みっかります。また、さらに大久川を上流に進み、谷地鉱泉に行
くと、今年11月オープン予定のアンモナイトセンターがあります。
ここで、イノセラムスの化石が取れます。採集したいくつかを
置いておきますので、必要を多は、ご自由にお取り下さい。

さらに、丸野町にある火力発電所近くの露頭で新生代第三紀(多賀層)
の貝化石を取ります。実は9月1日
でした。



Inoceramus

中生代白垩紀化石の巻貝化石

観測所は曇りと快晴。2日目は
朝まで星が見えました。月余か
なしともいふべきか。

1992.9.19~22

天気 19日 <曇り
20日 晴時々曇り
21日 "
22日 "
気温 22日朝 +8°C

田中

いよいよ秋のシーズンスタート。ということでは、今回は秋のいいかぎり屋残りことにしてやってきたが、どうもまだいまいちの空だった。晴れるには晴れるが、雲がすぐ通過するという奴は多い。結局、今回ポイント出しとサーベイ星望野は1カトのみ。南海上の前線の影響が、ここまで及ぶようだった。それでも昼間は忙しかつアスキス装置を眼視観望カメラの製作などで、風呂にも行けず、食事も満足に取れないよりさま。結局、立木切りは次回に持ち込みにした。いよいよ、うちの星望野のさきげんをきこねるための。今夜は(22日)曇ってきたし、帰ることにしよう。

1992.9.26~28

天気 26日 <曇り
27日 晴時々曇り
気温 27日 +6.0°C

田中

今年は例年になく雨が少なかった。恒例の「秋の長雨」がさっぱりなかった。今日の新月のシーズン最後の日として今回は27日は最高の夜だった。しかし途中雲は少し出て(またが)きて、女とは10Aの中輪以後は、フィルムの製造(H2増感)も忙しくなりそうだった。

1992.10.6~7
(火)(木)

天気 快晴
気温 +4°C

田中

移動性の高気圧が張り出して、ようやく秋空らしい快晴の夜となった。

先月末参観されたP/Sイフト・タ・トルに昔星は先週、新島津、湯沢町まで掃りに行、Eが、大気差補正しなからため流れてとでもポイントできるような早寝にならなかつたので、満月前の最後のチャンスと、思って平日は、今回観測所へやってきた。

1時すぎに新月が沈んで、かゝは星望野の星望となったが、森D氏が、女すかつた16ヤンとなどの組み立てなどに手向どう、2時すぎにかゝの撮影となった。

ST-4の追尾が、どうもまだいまいちで、どうして結果が流れてしまう。またまた、安全点後まで持つべくのは、時間がかかりそう。

10月23~25

天気 あめ!

P/Sイフト・タ・トル 昔星 玉見に四つきました。天気が悪く、(赤)に降り出す。お天来過来ます。(総念ふもあるのよ)

山田

下でもちゃんと写る方にはいいと思います。BS4-T-4 1台余りあるのよ、パウボウアンテナとEで、VHFのアンテナもちゃんと、フースターを取付たい。まともになると思います。うんはうん!!
と、いって、はらちりはいいよ! P/swift-Tuttle 600-
平田

10.31~11.1 晴

久しぶりの東所です。11月を九住の友人宅に一泊して旺日観測所まで送ってもらって来たので何か入る近くで大分迷いました。

晴れた日曇った日でしたか、11月の色んせは素晴しい。15cmの双眼鏡で見たオリオン星雲に感動しました。星は弱、月は比較的光射夜でした。総会の参加者が少ないのは月と残念です。

11.1 (晴)

5~6日ぶりです。去年の総会に出席できなかったので、今年は(向平のpushもあり)頑張らなくてはなりません。日曜の夜にこまめに、古い日記を整理し、日記帳に記入して置きます。

スイングにきて、観測所へ11時に集まり、準備をします。今日は都合で10時です。また、日記を整理、日記帳に記入します。

最近 PC (11.0.0) の仕事をして、かなり天候関係のソフトが国内外で出ているのに気が付きました。何かを外出して、日記帳に記入して置きます。日記帳に記入して置きます。

7. - 8. 11. 0. 0. 日記に記入して置きます。日記帳に記入して置きます。

日記に記入して置きます。

日記に記入して置きます。

10/31 ~ 11/1. くもり時々晴 - 時雨のち朝方晴

どうも年一回の総会にしか出席できないような今年前半の仕事のハードさでしたか、秋頃よりホッポツ暇が出てきたので(ハッポツ崩壊の影響でしょうか?)今年も一回~二回位は来所したいと考えてます。

観測の方は前記のような天候でしたので、ほとんどやりずい。さんとおでん宴会にいらしてしまいました。

1992.10.31~11.1

天気 31A 上記のとおり

1日 快晴

気温 11月 0°C

田中

今年の総会も無事に終了。議題は多かったが、たいした入向性は見出されなかった。

私だけが平日の夜も居残り、2日朝に帰ることにした。

1日の夜はまっ赤の快晴。眠るのが惜しい夜であったが、2日の仕事に備えて20時から25時まで眠る。

そして、今日、27時急いで帰る仕度中で、6時までには向島女房を痛恨(はいと大変なこと)にする。逃げ、逃げ。

1/2 ~ 3 快晴

市野

水がたまり！ 何となく水たまり。困ったもんたー。
全部使わなければいけなくてさういね。せめて置いていたんだから。
それにしては困ったもんたな。

明後日から修学旅行に出かけるので。次回は月末の予定。
総会に出られなくて申し訳ない。たと思ってる。皆さんに会いた
らたのです。

1/2-23

曇り時々晴れ。朝は快晴。

市野

21日の夜は秩父の観測所でメンバーと飲酒欲談の宴をほてきました。
天気は快晴だったのですが望遠鏡のパソコン部分が壊れてしまっ
たので。スイト・タートル星を観望しただけで。上記の宴とはなしては
わけです。

22日は。都会近辺在住の恵まれり [redacted] 連れて。本学の
屋敷を。智恵子の故郷。福島を見せやうと。やってきた。来た
のだが。寡黙な田中氏には。喧騒以外の何物でもなかったかも
しれない。

そのうち。今回は。探索をしようか。観測しようかという様なことは
余りなく。まあ。言ってみれば。修学旅行の引率のような感じで。
(家で言えは。先週も。先週も。この子と一緒なのだよ！ マー）
やってきたのである。

尾のあるスイト・タートルを見つけたし。一晩中とはいかないが。満天の星も
見ることができた。その中に充実した一晩だと思っ
た。

次回からは。本格的に。シーズン入りしたいと思う。
28日、29日は。屋敷と一緒に来る。予定。

1992.11.21-24

天

21日 快晴 ~~晴れ~~

22日 晴 ~~晴れ~~

23日 快晴

24日 夕方 ~~曇り~~

月

20°C - -3°C

田中 [redacted]

新月前に衝付近を全部掃りつくすつもり。今日もつ
き。

一途中快晴だったが。雨が2夜あったので。たいてい
予定通り掃りつくすことができた。

16ヤシユニットと [redacted] 系約60コマ。すべて
2重掃り。[redacted]

掃った次の日中に干エックすると。たると。半日は
乾くついでに。と。たると。夜事も。風呂も。行
けない。すべて。ここで。きかぬ。え。来年には
は。でき。た。た。来年から。は。掃って。干エック。
体制が。整い。そう。

夕空のP/Sイット・タートルは。なかなか。た。
双眼鏡（15ヤシユ）では。視野。は。の。尾が。長く
見えた。ユニットでの。写真では。1度以上の
尾が。写。り。か。は。み。出。て。い。た。

12月もP/Sイット・タートルで。サーベイで。快。い。
こと。だ。う。な。あ。...

1992. 11. 28 (土)

市村

天気予想によれば、週末は晴れるはずであったが、予報どおり、曇りから雨へと変わりそうなお空模様である。

先週いや今週の初めは、うるさい女、4人を引率しての予定で、観劇らしいことは何もやらず、サービスに努めたので、今回は意気込んでや、こきたのであるが、全く残念なことである。しかし、日曜日には回復するらしいので、本でも読みながらねおてみようと思う。

最近、年令のせいか、視力も感度も落ちてくるようで、暗い屋敷が見えなくなりました。夜空が明るくなったということもあろうが、肉体的な能力も衰えもあるようだ。さみしいものである。

前回は、4人を引率して、さきり荘 → 鹿角平 → 勿来関 → 食事 → 海と、大サービスの1日であったが、何と、海で、
道連れで、スプアぬれとなり、さんざん目にあってしまた。ほろくしてなた、という感じであるが、後始末が大変だった。結局、4人を宅西して、11時に家に帰宅した。所員の記録に迷惑をかけたり、範圍で、
前会では見られない屋敷を見てやりたりと思う。(おれ、維持に協力してもらおう！)

最近、メンバーがあまり集まらないので、話題が少ない。

今回は、3年ぶりに、
へ。来ていたと思っていたら、そればかりでなかった。
今夜は天気が悪そうなので、鍋をためて酒をのもう。

夜はやはり雨。酒を飲んで、語り合っただけであった。

11. 29 (日)

朝、起きてみると、快晴。今夜見てから帰ることにする。
来週から試験一週間前になるので、少し忙しくなる。秋、紅事
から、紅事はい。

12時頃、田中氏より電話。今夕、来所のこと。

雨が降ると、何もすることがないから、いい休養になった。
今夜は、阪急のタートルを見てから、少し捜索。12時くらいまで寝て
朝に捜索。その帰宅、紅事。モニターを進行中。

冷蔵庫の中に入ったワインはいたたきました。おいしかったですよ。
別のものを買っていただきましたので、そちらを飲んで下さい。よろしく。

5:30。自前で食事の予定があったので、その急集まりで行ってきた。
量をたぐん食べたので、前にかたぬき。しかも、後で梅やあいた。
そろそろ、彗星が見えそ一た。カニルン。

11. 30 (月) 朝、5:10。

もう朝、という感じでは、空は最高のものであるが、紅事の予定は思いますが、
久しぶりに完結した観劇をいたと思いが、

今年もあともう少し。

モニターを飛ばそう。

1992. 12. 26-27

秋バタ巻

気温 0°C

田中

今日は20日(A)~23日(B)まで滞在の予定だったが、悪天候のため中止して帰ってしまった。そのため、来所(来所)の来所。

例年通りまだ雪は根雪にたまるほどではなく、快適な日々を過ごせそうだが、まだ今年の仕事は終わってないので、本日は帰る必要はない。

次回は新年早々、1月1日~3日(仮)に来所の予定。

元日は

1992. 12. 25~26, 27, 28, 29, 30, 31, 1, 2 天気は晴。 市村

今回の来所は、娘に勉強させる、という大義名分があるので、大急ぎで長逗留である。(予定では30日か31日まで。) そのため、天気のことを考えず、晴観雨読という次第である。自分だけ、出かけるわけにもいかず、読書しているの。持ってきた5冊の本は、すでに読み終えてしまっている(28日現在)、あとは、パソコン関係の本が1冊残っているだけで、この1冊を早くも読んでもいい。風呂ができていれば、のんびりと入っているのがいいが、来所は本当に入れるのだろうか？

田中さんの住所中に、ステレオセクターのいろいろな使い方を教わった。やはり、制作者の1人に聞いてみると、奥が深いと思う。私、カラーの1冊パソコンが欲しい。(宝くじが当たればいいのになあ) 何となく、欲にくだらぬ、字が汚れてきたような気がする。

昨夜(27日夜)、田中さんが帰ってから、とうとうわけが天気が回復し、朝方3時くらいまで、とうとう晴れていた。15cmの双眼鏡と、20cmの反射鏡を使って、星雲を観察したが、やはり視力というの、感度がずいぶん落ちてきているようで、11等級の星雲は、私には見えな。淋しい

ものだ。(11等以下の星雲が見えないのは、困ったことだ。) 10.5等3'くらいがいいところ。という感じである。

今(28日・10:40PM)、外は曇り。霧が立ちこめ、今にも降り出しそうなお感じである。天気予報では、明日には回復するようお話を聞いているが、この天気は明け方、急激によくなることかあるので、油断は禁物。何とか頑張る。明け方まで頑張るぞ。

…結局、朝まで雨が降り雪が降り…

29日

風呂へ行こうと、さきり荘に電話をしたが、全く出ない。一応、村の施設なので29日から休みに入ったのかもしれないが、困ったことだ。仕方ないので、今日はあきらめて、勿来の軒まで買い物に出かけた。と、いえず、本屋。そして火打も買ってきた。これで正月を越せる！か？

外は、1たいに暮れてきており、空の方も快晴に向かいつつある。(やはり気がする今夜は、頑張るゾー)

と、ここで、年末恒例の、高橋の買い物行脚は、どうなっているのだろうか？ もう、そろそろ来てよさそうな日頃だ。今年は何を忘れていくのだろうか。5:30くらいから快晴となり、時折、ちび小雲が流れるくらいで、30日朝までそのまゝ。途中、食事と仮眠をとって、一応朝まで読めたが、20cmでやっている。2'前後の小さなものが、けこう入ってきて、同定にとまじる。多分スケッチ集にも入っていないものもある。けこう大へんだ。残ったところは、しほからかみかけ、大抵は北の東方、いちばんせがいなところだ。あと2晩あけは、何とかなりうるので、20cmで小望遠を捜してみよう。

そうそう、為マス彗星が11等級前後で、20cmでも見えそうな予報なのに、確認できない。あるような気がして、じらと見たり、すくすく見たりしてはいるが、無様な感じだ。結局のところ、わからぬ。30cmを使えばいいのだけれど、天の場合、20cmで見えれば、否かが大率なのである。

30日

夕方、民宿「滝」へ風呂に行く。以前より広くなって快適であった。食事はできない、ということなので、逆に助かたおな感じ。今夜は天気が崩れそうなので、ぐっすり眠るぞ。と、思ったら外は晴れている。今夜も眠れぬ。

ここに書くよ

天気が悪くなる。と思つたのに、朝まで晴れてしまった。
正月に来るはずだった田中さんまで、とやっていた。
とういうわけが、高橋さんは来ない。どうしたんだろう？

31日。市産に起きる。娘がうるさいので、おばさんの家(私の義姉)まで
つれて行くことにする。6日ぶり。妻と会った。もちろん息子達とも。
元氣そうで何より。何も言わないうから、正月もおと居ることしよう。
久しぶりの牛料理と、風呂にのんびりしてついでに疲れをとった。
料理と食料をもらって、観測所へもどってきた。(もちろん水も。)

明日は、実家へ年始に行かなくてはいいけない。浮世の義理と
はいいえ、忙しい行動パターンだ。それにしても、最長連泊記録になる
のだから。今日で7泊。(あと2泊くらい、11日だろう!!)

黒磯へ長崎屋で、ひげを剃り買った。別人のような顔になったようだ。
今夜も天気がよさそう。12時まで寝こにしよう。

それにしても、トリカマのホーカルの □ はごめりなあ... ~~お~~ ねえ。
何年ぶりかで、紅白なんぞを見ました。

●飲んではしたかわりに、置いていた マトシナですが、これも飲んではいます。
かわりものを入れておくので、そつちを飲んでください。コメナサイ。
ウー。うまい。ヒトリで飲むワインもいいもんだ。

91/1. 明けましておめでとうござります。

2時間ほど仮眠したら、93年でした。今年もよろしく、お願いします。
コーヒを飲んでから、今年の捜索始め、ヒキきたいと思ひます。ま、少し
たたら、年越したうとんとて食べよう。
今年も本厄だ。気をつけよう。田中さんも。

「年越したかうとん」は、とても美味だった。(3:45)

外は薄雲が流れてくるので、休憩。仮眠しているの、頭もスッキリ
している。朝までもちそう。今日は双眼鏡だけで、やってみよことに
しよう。4時から頑張ろう。それにしても、日本だけで、いったい何人

人が彗星を捜しているのだろう。確実にいへば、この2人だけと、ずいぶん
いふ人だらうなあ、正月早々...

4時からやるはずだったが、雪がチツチツと降ってきて、結局あきらめてしまった。
早速、暖かいフロンに入ったのであった。

9:00PM. 実家から帰ってきた。(←自宅のような表現では、ある)
行く前、6:00まで P/Sライト-タートルを捜したが、もう、ここには見られそう
にはなかった。地平線まで、クリアであったのに、私としては、12/26が、
最後とわってしまった。

1/2 2:00AMくらいから雲が出てきて、朝まで全く夕まであった。もう一度
東天を捜原(ト)から帰りたいので、もう1晩、頑張ってみよう。(家に帰る
のが恐ろしい...)

倉から夕方まで雨。気圧の谷が通過^{して}らいが、思ったより回復が早
く、6:00PMくらいには、快晴となった。

今日で9泊目です。こんな冬休みは、2度とないだろうな。(来年は、
上の息子を連れて、鬼籠り世に来よう! でも、12/24が満月だから、来ても
無駄だろうな。)

1/2 0:00頃頃、開始。朝まで休憩なしで続行。一応予定のところは
終了。天気は快晴で、11等級の星雲も、かろうじて見えるものがある。
成果はなくても、実に充実した捜索だった。

12:30起床。外は快晴。

実家に忘れ物をしたという電話。往復2時間もかけて取りに行くよ
うなものではないが、どうしたものだだろうか。(と思いつつ、やさしい父親
は取りに行ってしまった。)

白樺で夕食をとって帰所。5:45PM. 外は快晴。月明があるが、西天
をやってから寝て、帰ることにしよう。長い滞在であったが、

朝、少しだけ、

何はともあれ、これでおしまひ。今年も頑張るよ!

(灯油も大瓶を買った。)

Written by Yoshimi.

1993. 1. 1

天候 快晴
気温 -4.0°C

田中 [redacted]

女作して おめでとうございます。
開所以来 10年近くになります。始めて、ここで
年を越しました。

また、そのものはなかなかのものでした。
さて 11月 12月と、衝の付近では 彗星は見つけ
られず、11月は私が 12月は埼玉の
佐藤さんが ほとんど 探してはいたのだが、
こういう時に限って 彗星はなかなか出てくれな
いようです。

また 1993年も マイペースで、やっていきたいと思います。

1993. 1. 3 ~ 5

~~天候~~ 両日共 朝快晴
気温 4日 +2.0°C
5日 -5.0°C

田中 [redacted]

いったん東京に戻って、世間の騒ぎを片付けて
また帰ってきました。

今回は明け方を中心にサーベイの予定だったが、
彗星の12時から15時半までの間には 彗星は
ない。(15年以上)ことがわかったのは 4種。結局
この新月には 衝付近でも出現しなかったよう
で、やはり 彗星は 数少ないのだらう。

市村さんは 10日連泊して探していたが、それにも
引かかるとはなかったようだし。

しかし、こゝには すぐおとには 出てきそう……。

1月も 頑張ろう。

1993. 1. 17-18

天候 快晴 気温 -5° ~ -6°

田中 [redacted]

新月前夜というのに、このときは全然 晴れは
なかった。今年も 暖冬のせいらしい。

前回の続き：1月2日に 1002 の 4 エーガ 15.5等
の新彗星を発見した。しかし、5ガ +45° 近く、その
サーベイでは +30° までしか 探してはなかった。た
りも 探したのだから、当然。

その日にしても、今回の雪はすごかった。
夕方に到着して 飯淵星の雨戸を開けようとしたが
雪の重みで、ぜんぜんはずせず、またまた夜の
雪降しをやるハメになった。暖冬でもここ
は雪になるので、それこそ 困ったものだ。

さて 今回のサーベイは 衝中心に -15° から
+30° まで 探してはみた。はたして、このあたり
に 何か いるのだろうか？

1993. 1. 29-30-31 天候 2夜とも快晴 気温 -5.0°C

田中 [redacted]

結局、1月の新月には 衝付近には 彗星が 発見され
なかったようだ。

今回、私は明け方 16h ~ 17h 付近をサーベイし
たが、厚曇では 地平高度 20度以下は なかなか
見えないものがある。この付近で、眼視でも 10等
が ちと いるところではあるが……。

1993 2.10-11 天気 快晴 気温 -5.0℃

2月8日から10日にかけて「ピッコ-マスカ」カルフオリ=P
星雲の中を通る予定だったので、天候や仕事の都合
~~を~~で、ようやく今回もつてきた。とはしても
撮影できるのは、夕方のわずかの時間をだけ。
はたして、全国の向か所まで来たのだろうか。
幸いにも「川のき」で「は晴れたが」、夕空のサベイを撮っ
けたため、東の空が「しじら」としてからの撮影で、
13まで待たされた。カルフオリ=P星雲の赤い色が出て
くるのだろうか？ 夕空が「ババ」。
そろそろ、花粉症の季節。これが最後になるかも？

1993. 2. 12 天気 快晴

夜11時到着。冬のいけえへ乗るのははじめてです。
エサに寒い。来た途中の山中では、降るよう星
空でしたが、到着時には月の出も開始にせま、2あり
空が少し明るく来ていました。か、方にはともあれ
子供達に素晴らしい星空を見せようと、ルーフを開け
空を見ました。オリオンがもう大分、地平線に近
かっているの、惑星でもと思い、30mmで見たら
根視がでまないう状態に存していたので、申し訳な
いとは思いつつも市村先生、経緯台を準備して
子供に火星と木星と月を見せました。どうも
有難うございまして。今回は、自分の機材も持て
来たので、明日は、自分の機材で写真を撮るつもりか
なと、考えたいです。

1993. 2. 13

天気 快晴 (快) 晴

午前中は、鹿の角平で望遠鏡をいじりました。観測所は
おいて、2つの望遠鏡も盛り。すべ、2枚の望遠鏡が、小工の
取、手の所が2枚の望遠鏡。申し訳なありません。代
わりという、これはなんでも、家から持て来た望遠鏡を置いていま
すので、よろしくお願ひします。

午後温泉に入ろうというので、入道温泉という
所まで行、たの望遠鏡が、予約がないとたの望遠鏡の
入湯を断わらうとしました。

夜は予定通り、持て来た機材を組み立て、写真も何枚
か取りました。この機材で写真を撮、たのは、初めての
こんな具合に写、ているのか、楽しみます。

町に行、たとき、灯油満タンにしておきました。

午前 2:00 ~ 3:30 は快晴でした。

以後急に雲行きが変えしくなり

3:30 ~ 3:45 雪が降り出しました。

1993. 2. 14

天気 快晴

初めての2星泊で、売戻した日を過ごすことができました。
昨年購入のEM-200赤道儀(タカハシ製)の性能確認は
しました。ノータッチで、1枚で木星の視半径ぐらいの望遠鏡
値段の割には、ずいぶん性能がよいと思、たので、比
較的対称性を持つ合わせたいので、これ以上の上りこは言え
子供達も、ソリすべりや、星見にと、結構楽しんでたよう
です。また(天ぶん一家総出で)来たと思、います。次回はせ、
風名(はつり?)に入りたい。

余、天ぶんを置いておきます。

1993. 3. 19-20-21

天 19日 快晴

田中

20日 " → (モ)

毎年恒例となつてしまつた花粉症が今年も2月中旬
すぎから始まつてひどい状況が続いている。
たいていの人には3月11、12は"終りだ"というのに
私の場合は5月の連休頃まで"続くのだ"。この季節
はすっかり11日た季節となつてしまつた。

とはいつても 星空の方は新月近くになるとウズ
ウズしてくるし ちょうど 天気も良さそうという
ことで今回は2泊の予定でやってきてしまつた。

東京はすっかり春めいてくるのにさすがにここは
まだ夜は冷える。19日の夜は -6°C まで下つ
た。この2日前の市村さんの記録では -8°C
ということだ、たぶん11日ので春はここでも着
実に進行中ということかな。

夜間によって 既知の彗星のクエックとカ-ベイ
を行つたが 20日の日は現像が終つて寝たの
が7時半だったせいだ。起きたのはたんと 夕方
の5時。あつて食事に行き、帰つてすぐまた
観測とあつた。11日を過ごしてしまつた。

本日21日(月曜)朝11時には全夫うす雲が
広がり 天気は下り坂のようだ。今回の成果は
2夜で50コマほどというところだろう。

そろそろ新彗星が出てもよさそうではあるが...

市内は雪

1993 3/28(日) ~ 30(火)

天気(雨)

(28)雨→曇

(29)快晴(時々雲)

市村

雨天をものともせず やつてきた。今度は娘 3人連れです。
朝方に晴れるかもしれない、と淡い希望を抱いて来たが、
どうも無理そう。結局、現代文の教科書を読む、という。実
つたらんことをやりました。今夜は適当に切りあげ寝る
のが一番いいと思う。のだけれど、何だかモチモチない気分。
台所で一人静かに(娘達は和室で静かに...?寝ているか?免強...!!
本を読むのも久しぶりでよろしい。

4月の中旬から下旬まで、まともな来れないと思う。
いけきのシーズンも終わったかな。という感じ。
秋の活動にもおぼえ。準備をしよう。

30日早朝は久しぶりの快晴。同伴1人生活も満足したと思う。
外の観測室のアイキャッチ、Kの電話の上あたりにも置いておくと
便利だ。よろしく。

1993. 3. 29-30

快晴 気温 -6.0°C

田中

3月29日、東京はものすごい春の風が吹き荒れたが
久しぶりの冬型には、絶好の星空にはなりそうだった
ので、またやってきてしまつた。

今回は先日発見された ユー-カー-ベ-彗星(1993e)
のクエックと 明け方のX天体追跡のため

[結果] ユー-カー-ベ-彗星は14等との事(いいか...
どうも写ってないようだ。
明け方のX天体は星雲と判明。+L+L。
(雨記)しっかり写っていました。星雲にそっくりの奇妙な姿で...

1993. 6. 16-17-18 天 16日 晴時々曇り
17日 夕方に霧

田中

梅雨の晴れ間となり 16日 夕5時 東京を出て
ここに書いたのが8時半。これでもまだ西空は
明るい。なに3 夏至も近く 1年中で最も夜の短い
時期だから仕方ないか?

天気はおおまか 晴れながら 時々雲が過ぎゆく
なんとも早夏にはいやな天気。これでもなんとか御の
車取りが4ライン報いた。

17日の昼前はすごい快晴で 夏夏のような天気だったが
夕方には雲が出て結局18日 明け方までバタ曇り
になってしまった。昨日、天体が1つあったが、これで

気にはる

確認のし方がなくだった。

1993. 7. 23-24-25 23日 快晴
田中 24日 大雨

夏休み最初の日曜日ではあるが 梅雨の明けると
がまつかくも一週向以上もバタ曇り 雨の日が続いて
いた。今回も期待はまったくしていなかったが
23日夜はどついうわけがど快晴になっていた。しかし
湿度はずりくても何もかもバトバト状態。早く 秋の
カラッと1日 天気が待ち遠しい。

1993. 8. 11-12-13-14

11日 快晴
12日 "
田中 13日 バタ曇

今年のペルセ群は11かに?ということ。今年は
いつもより早めの11日の夜からやってきた。子供4人
を連れての大群団である。

しかし予想とは違っていて 1時間に数百個も乱れ
飛ぶこともなく、せいぜい数十個といったところ。

そのため、12日夜はバツグンの透明度のもとで
新星と彗星サーベイの写真を取って帰った。

これにとも、台風7号通過の10年に一度というがき
すばらしい空のもとで、久しぶりの夏空を楽したの
であった。

1993. 8. 28-29

くもり

田中

山はすっかり 夏も終り 秋のような気候になっ
ていた。しかし星は曇っていたため、たたくはくす
最後の避暑気分といったところか。
本日の仕事: プラ一下の暗室の解体と片付け。

次回の予定: 排水工事。(浴室 & 暗室)

1993年9月2日~4日

台風 曇天~大雨
高橋

台風13号の巨大台風が近づいていることを知りながら、観測所に5名の学生とやって来ました。星を見に! ではないことは、雨と知って来たこともさることながら、月齢を調べればご理解いただけることでしょう。

ちょうど1年前にも同じ目的、すなわち化石採集にやって来て、Inoceramus なる中生代の貴重な、しかも保存の良いのを多数採集できたので、柳の下に何度もドジョウはいないと知りながら、つい挑戦してしまっただけです。

結果は、予想に反し、今回も収穫にありつけてしまいました。

また、昨年は建設中だった「いわき市アンモナイトセンター」を見学しました。センターには、双葉鈴木竜を発見した鈴木さんについて、詳しく解説していただきました。500坪程の館内に広がる露頭に掘り出され姿を現わした20の巨大アンモナイトは、8000万年前の海底を覗いているような幻覚に襲われます。

宇宙が我々の人類の故郷であるように、我々人類のルーツを辿っているとアンモナイトにいきついたのが、そんな気になります。

このトキメキと感動、そして興奮を体験しようと思うなら、是非出掛けてみて下さい。

それから、お風呂が早くできるというのでネとiriながら今回は勿来から来る途中にある「四人お風呂の宿」に行ってみました。昨年の5月にオープンしたそうで1人500円、5人以上でいくと1人300円で入浴できます。(町営のようです) 広めの浴槽でゆっくりでき、石鹸・シャンプーは用意されていますので、タオルだけ持っていくだけでOKです。

1993. 9. 4~5

曇り 晴
田中

満月過ぎで、晴夜は1階南窓という条件にも
ががゆらぎ、ここにもって来たゆけは、浴室工事
のためであつた。

予定では11月7日の総会に「浴室開き」を盛大に
行うために、なんととも9月~10月中に完成させる
必要があるのである。

さてさて、予算をオーバーさせずに完成できるか?
なんとか頑張るしかない。

来週には給水 給湯の配管工事を行う予定。

1993. 11. 6~7

総会が再び久々に来れた。去年は病後ひまわり一回も来れなかったから、一昨年の総会以来の総会だ。

田中の車道で黒の新車に乗せてもらった。こくと3人、6日の午前10時に車庫と出た。また、出たばかりのレインボーブリッジの通りというコースで晴れた朝はモヤモヤと「星はみゆか」というお天気だ。友部 ~~と~~ 昼食、水星の日蝕を見せ下ろすというお天気だ。雲の流しが早いので、クワット見えた。太陽の下に黒い小さな丸い点の、本物に見える感激だ。宇宙が素晴らしい。美しい紅葉と存分に眺めたい観測所へ。20年ほど昔の久々の観測所はすっかり変わってしまっている。田中工場の総会(開会)より1時間ほど天気が悪くなった。午前11時に大雨と浴槽、お風呂の工事。 (疲れた方はお風呂に入りました。お風呂は20分ほど)

1993. 11. 21 ~ 22 ~ 23 天気(前日と同じ) 市村.

21日深夜、というが 22日早くというが、真夜中に到着しました。
埼玉を出る時は快晴だ、たのに、いわきは雨。なんだニヤ?
という感じで、荷物運んでくるうちに快晴になる。

今回の15cm双眼鏡を上にあけるので、人がいる時に来ると
大変だ、というにて。(田中さんがいる時で、ホトによかった!)、この
連休にやってきました。

20cm及経で、2時向くらゐ観てきたが、^{星屋さんと}ほとんど忘れてしまっていて、
捜索にはなりません。また最初からやり直します。

もう、年令(トシ)なのでしょうが、4時前に、快晴にもなかならず、寝て
しまいました。

それにしても、風呂はいいですわね。実に気持ちよかったです。
ホト一をうけると、後の午頃は、いろいろと面倒ですが、
快適さを享受するならば、仕方ないでしょうね。

次回来られるのは12月中旬かでしょうか。双子座流星群を見つ、
例年通りテストをやっていただくことにしたい。

今年は天気に恵まれていないのが残念。

ごめんごめん

お別れも、お礼も、お詫言の、サマの挨拶もいたしました。

次回、かかりのものを持ってくるのを許してください。

(サマ、サマ、味はにかいかにしつぽいかな)

?

1993 12. 4 ~ 5

晴時々曇り
気温 2°C ~ -2°C

田中

11月は天気のめぐり合わせが悪くてほとんど何もでき
なかったのて、12月こそはと意気込んでやってきました。
しかしあの11月のような快天にはならず、たえず曇りが
やってくる始末。

夕空のエアロ-彗星も結局見えず、リュウートの彗星
出しと、5時の15分のみのサーベイだけになった。

来週は新月。2泊ぐらゐは12月の今年の欲求不満を
はきだしたいものだ。

1993. 12. 11. ~ 12.

晴
気温 -2.0°C

田中

おらもく、土、日曜日、晴れたが、ものすごい
強風のため、早朝撮影には大変な悪条件だ。
とれども、夜半から、明け方まで、5時向位
ほとんどがサーベイできた。

うちのチューメーカー夫人による昼間の作業で
は異状なしとのこと。このまま静かに今年を
終るのだからうか?

1993. 12/11. 12. 13 天気(00x2) 市村

今日の来所は、昨日来る予定だったが、天気は悪いので、日延期に、11日(土)であった。来てみて、ビックリ！結局、6人()もの、又々の人数で、ニアミスしていた()で、驚きであった。夜半頃から快晴となり、朝方まで最高。ところが、毎度のことながら、体力がもたず、眠気も襲ったりと、ヨレヨレの一夜であった。しかし、()である。レー・マルチは突においし。ケトちゃんのお父さん、ありがとう。()
今回は、田中()に、食事を用意していただき、感謝——。
1770ちゃんも、試合会場で会って応接にあてよう。

12日夜、静か。(わがくはないぞ。)
ゆくり、酒でも飲んで、と思いたが、期末考査の採点をしていたことまで思い出してしまった。どうしよう どうしよう どうしよう……

13日午前2時頃まで採点しながら、待たせ無理そうなので、ビールを飲みながら、仕事。
午前10時くらいに目覚めたら快晴。おそろしく夜が明けてから晴れ出したのだ(と思いたい)。
今日の天気は、予報では、曇り→雨か雪と言っている。(信用できないなあ) とりあえず、採点しながら、夜まで待って、夕メなら、一度帰る。明日の晩にまた来よう。

1993. 12/14. 15. 16 市村

14日. 予定通り、やってきました。天気予報では、回復が遅れるという感じだったが、昼過ぎにうすうす青空が見えたような気がしたので、何とかなりそうだと思い、やってきました。
9時前に到着したのですが、薄雲がかかっている、あまりよくない。まだ一度も、夕方のムエー彗星を見ていない。
10時過ぎから回復し、快晴となったので、衝付近の南天を捜索。
15日. 0時から2時頃まで仮眠し、そのあと、南から東南方向を捜索。天気がよければ、10.5等 2'以上のものは見えているようだ。朝方、5時前から雲が出てきて中止。

午後2時半起床。
今日は、双眼鏡の使い勝手をよくしようと思ひ(私にとり、というは)接眼部に木で枠をつくり、新しいファイターと、上下に動かす時、取手を取り付けた。急に思い立って作ったので、見づらく思ひ。しかし、何とか使えるので、これから使う人は、注意してほしい

◎ 眼幅は決して動かさないこと！
◎ 左目の方に、乱視と近視の視度調整を入れ、入っているのを、勝手に動かさないように！

やはり夕方はダメだった。晴れているのに、雲が降ってくる。またしても夕方の彗星を見る機会がとれない。今シーズンは、夕方と朝方、両方ともスリキリしない天気となり、しまった。イヤ、残念。

16日. 10時から0時過ぎまで、衝付近の南天(昨夜できなかった所)を見る。光害が目につくが、それでも10等近くのものは見えるので、中心が明るければ、それ以上のものなら何とか取る。あとは出番のを待たせた。1時から3時まで仮眠。

3時から5時まで東から東北のうしかい座^座近々を搜索。これは20km
の方でやったのだが。12.5等となっていて星雲が見えなくなってしまった。
困ってしまった。実際は11.5くらいだと思ふ。(眼視だとこのくらいがよくある)
全部おえ子まで致らず。おれでも雲が出てきて、中断。
朝方。東天から雲が出てくるパターン。今子に 有利 経験がない。

朝風呂に入って。一杯やると、就寝。

寝る前に。気せきおせて家にtel (1:30)。娘がバスに乗り遅れ
ないように。この親心であったが。何と。今日は休みなのだろう。
(怒られてしまった。)(←しかし。今日は どんなに 聞いてもらんだ。)

湯豆腐の作り方

もっと早く。作りた時は。皿に豆腐^{豆腐}を^{豆腐}せて。(深い皿がよい)。
レンジで5分くらい。(もちろん。ラップをやる)。
ポン酢で食べるよりも。

* 作り方。というほどではなかったか...

ツリは ちゃんと勉強してやるんだらうか。

12時起床。食事のあと。正解を作ってから採点。

夕方。灯油を買って下山。(と、いうほど。山ではないか!?)
夕食後。久しぶりに西天を見れるかと思いきや。何と。またしても
全天。雲に覆われてしまった。何なんだ。これは!
有利の巡り合わせの悪さに。声も出ない。明日。休むとわっ
ているのだが。キャンセルしてしまおうか。

早く採点しないと次の仕事に移れない。いつも。もっと簡単な問題を作
らうと思っているのに。どうして面倒なものを作ってしまうのだらう。
あと 1/2だ。

17日は天気も回復したので。夕方。今度こそ。彗星を見よう。と思ふ。
採点もおれおれ。何とか戻るだらう。

彗星(comet)は。天川の中なので。ちよと見つけにくかったが。何とか。
9.5mv (9.118)。

1993. 12 18 - 19.

天 快晴

気温 -5.0°C

田中

市村さんと入れ替りに。また土曜の夜にやってきた。
冬型がゆるみ。朝まで絶好の天気だった。

今日は。各30"毎のういを夜明け寸前 (15h30"まで)

ぬらった。
いくつかの天体はあるが。これといったものはなさそう。
もっとも P/S-W. を偶然見つけて。少々おれおれだ。

Σ=ミットの調子もまだ3本しか満足できず。あと2本は
スケアリク"のやりなおしが必要。正月仕事にやることだらう。

それにも。明け方の黄道光がきれいだった。やはり
星見は明け方に限る。

1993. 12. 26 - 27.

快晴

気温 -2.0°C

田中

こゝは絶好の天気をどうして見逃す手があるのか
月入がさ。薄明開始までの1時間余に。明け方の空を
サーベイおびくまで。やってきた。さて。結果は11かに。

1994. 1.3 ~

田中

女けましておめでとうございます。

いゆき天体観測所も11年目に入り 興奮をまわりの観望者も騒々しくなってきました。たか、なんとか星が見え始めるように祈りたいものです。

さて昨年^{望星の}は結局 眼視発見はゼロ、望遠鏡発見もパロマと 車田氏による15等以下の小望星ばかりという結果に終わりました。果たして今年はどうでしょうか？

この正月は満月直後ということもあり 1月3日からスタートしました。新月前に夕空と衝付近を掃りつくす計画ですが、本日(1月6日朝)まで"にまた"衝付近のラインしか掃れていません。11もたか、その天気ばかりはどうにもなりません。

結局 6泊して約100丁の撮影できました

P/S.W. 1のD-2 (12-3等) で"リ"の女けてたが、全部のネガ4エックが移るのは来週11、は、い、か？

1月3日~4日	晴時々曇	-2.0°C
4~5日	快晴	-1.0°C
5~6日	曇	-2.0°C
6~7日	快晴(夜)	0.0°C
7~8日	"	-6.0°C
8~9日	"	-2.0°C

1994. 1/4,5,6,7 289

田中

今回は息子連れの来所です。

天気には恵まれなかったが、年々お世話も増えたし、何とか、夕方の望星も見れたし、で、ほっとした気分です。今年と比較的、来所する機会がふえそうな気がします。とりあえず、息子を返してから、また来よう。

7日に一度帰る。この仕事からまた来た。すずかに癒された。天気は、7,8,9日も最高である。

9日は、夕方の空を2時間くらい、そこから帰る予定。(今、9時の5:30PM) 例年通り、冬休物屋退宿ではあるが、今度は天気に恵まれない。天気の予報時に星見のチャンスがあるのは、ふいにた。今年も頑張ろう。

1994. 1.14-15-16

田中

2夜とも最高の快晴 -2°C ~ -5°C

1月8日発見された車田新望星は明るいい!!

ユニットで撮ると10等近くで写り、30cm 眼視でも良く見えた(2つのカメラと同じ位の11等)。

それにしても1月の私の撮影ネガの死所に入るとは残念。また逆に12月はチャンスでもあったのだが、やはり黄道付近ははずせない。そこで、今回から黄道の上下10度は見逃すはすすす。余裕があったらその他に移ることにした。新望星さんが天の川をぬらうように、望星屋さんは黄道中心だ。

1994. 1. 30-31 快晴 -8.0°C

田中

満月直後ということで、西空をサーベイすべく半日ばかりにやってきました。一年中で最も寒いと思われる -8.0°C を記録しましたが、動き回っているせいかさほど感じなかった。薄明終了から2時向ふ朝の向に黄道付近のサーベイを終了。計18コマの収穫であった。

1994. 2. 2-3 小快晴 -11.0°C

下弦あたりの衝付近のサーベイチャンスがやってきた。もう1か月過ぎてしまったのか、早いものだ。月が出るまでの向、世界に光がけて、なめらかさっもりでやってきたが、冬型がガニガニに強いため、雲雲がやってきてなかなか予定通り消化できない。それでも30コマ近く写せたのは何よりだった。

1994. 2. 5-6 快晴→曇り→快晴 -3.0°C

今月はお姉様の調子で、サーベイは進んでいいる。夕方の空は黄道から北側30度ほどは何もなさそう。衝付近も黄道付近は何もなし。あとは明け方のが、今週末の飛び石連休あたりの天気は期待しよう。立春を過ぎてようやく暖くなったように、屋根の雪融けの音が心地良い。

1994. 3. 5-6 快晴 気温 -17.0°C

田中

結局、2月は何もみない天体の出現はなかった(11座新星はあったが)。さて、1月の串田慧星以来、パロマではビューザーも遠もっているようだ(MPCによると) 彼らも何も見えていない。今回は、10時から14時までの衝付近黄道帯と夕空を少々やった。来週末の新月あたりにもしてきようかな。衝付近の上下と、明け方の空で、今月の1/2は達せられる予定。今回、雪はほとんどたかたかっていたが、またまた油断できなかった。

1994. 3. 14-15-16

14-15 曇り 吹雪 -4.0°C
15-16 快晴 -4.0°C
-2.0°C

田中

明け方のサーベイが残っていたので、早日はがさ、天気を狙いながらやってきた。14日夜はわずかに晴れたものの、吹雪になる始末。結局1日延長に、15日夜も残ってしまった。15夜は最高の快晴。気温も以前に比べると暖くなった。しかし、これからはやや季節。今期は、今回が最後にはるか? 外の雪もほとんど融けていいるし、夜も水道や井戸の水が凍ることもなく、コンデショも最高。花粉症もまただし、これで、新天体でも出いば、さいにグッドなネタはたくさん。

次回は多分4月上旬に来所する予定。

(注) 350赤道儀のギヤ回転が良くなっています。次回が11.2.20 予定

1994. 3. 20-21

快晴 -4.0°C

田中

4月上旬まで来る予定はなかったのに、20日夕方天候図を見ていた。雪が抜けて晴れそうは気配がたつたので、持ちこたえてきました。

またまたの快晴。3月はすべからず天候に助けられた。(けれども良くなる時だけ来ているのが"か"...))

今回、月も大きくなってきたので、明け方のみ。かなりの低空まで来たが、まだ30%の方が残っている。(低空は広いなあ...)

4月もまた天候が良いといいのが"か"...

なお、本日より新緑の心配がなくなつたので、水栓(風呂場)の水抜きをやめます。またボイラー室の湯栓のバルブ締めも不要です。しかし、ボイラーの水抜きだけはサビ防止のため必要です。

1994. 4. 9-10.

バタ曇

田中

4月の新月に反対。またもってきました。

3月は結局、リュウノケカ・レビ-彗星が"13等"で、

観の南で発見されたが、私の場合は黄道付近のみで、南へ1コマ不足で、またまたカスってしまいました。しかし、彗星はやっぱりいるんですね。

すっかりいれきも春がすみにはってしまい、今回はまったくペケでした。

これからこんな日が少なくなるので、"ほうか"。次回は5月の連休あたりに来所となるか？

1994. 4. 16-17

快晴 最高+10.0°C

田中

今月は天候が良くなり結局、今回初めてサーベイできた。

明け方のサーベイにはちょっと手遅れた"か"。もうと書いていた。夜、 代からTEI。新彗星の発見!! だということ。=ユースでや、たらしい。それも、 とレビ-彗星。明け方のいい場所である。

明け方、15センチ双眼鏡などで、捕まえた"か"。10.5等(レビ-)の同彗星はわかりなかつた。16センチ"ユース"では、きり11-12等まで写った"か"。レビ-の目のよさ(望遠鏡? 空?)には参ってしよう。

~~1994. 5. 2-4.~~

田中

今年の連休は天候がまったく良くなり、運目、くもりか雨のうんざりする毎日だった。予報では前半は良いとの"か"。たか、そのさそもはずれるせいで。

結局、5月のサーベイは4月よりもひどくてゼロになりそう。

それにしても、ようやく新緑の季節となり、若葉がはえそろうてきた。しばらくは、~~新~~緑と花の美しい季節となる。

1994. 5. 28/29. 晴れ

市子

朝から小屋の電灯がついていてビックリ。
 中に入ると、お金を入中の箱が何個か。さらにビックリ。
 結局、昨日の田中氏の来訪時と、おかしな安心。
 外はもう草だらけになってきたので、夏はなあと思う。
 今月は、夏の空を少し見ただけですが、5月28-29
 日は最高でした。
 今年は何だかおかしな感じ。来れるのか。秋は深まった頃
 でしょう。

夕方、天井^裏のへびがあらわれています。少し、こわい。
 皆さん、気をつけてください。

¥500.

宿泊代が500円です。

1994. 6. 3-4-5

田中

5月6日に発見された高貝決新彗星は私が3月20日に
 撮った中にしっかり写っていた!!

またしても prediscovery と呼んでほしい
 や、はりファイルの千エースはしっかり写っています。

今回は天気が悪くてシングルで6コマしか撮りな
 かった。

1994. 6. 25-26

田中

久しぶりの来所(20日ぶり)で、たが、この位 白雲
 を空けると草ボーボーで大変。草取りをやる
 つもりだが、雨もようで中止。来週あたりまた
 や、こきて草取りだ。

1994. 7. 2-3

くもり 田中

大州、四国地方では梅雨があけたという。
 さらに今日は東京で36°Cの~~暑~~熱暑だ、たが、
 ここでも草刈(している間)。暑くてたまらなかつた。
 夕方でも夕方に比べるとしおぎやすくなった。
 夕方でも快晴のまなごで、少しもってかき
 帰ることにしよう。

1994. 8/11

市村

浄土平へ行くので、20cm 反経を取りに来ました。
 林から冬のスズメで、当分、"休ガ" なのですが、2匹
 新しい彗星を見えます。

1994. 8. 12-13-14

田中

今年の夏は、いつも暑い夏になったが、天気は例年通り
 良くなかった。^{以上} 観測所付近は雲におおわれてハルヤ
 群もほとんど見えず、2夜とも見取となった。

1994. 8. ~~13~~ 14-15 曇りの晴れ

日記によると 実に4年ぶり、本当に久しぶりなのです。
この4年間 星を眺めなかつたわけではないのだが、
日食以来 滅^全てしまいました。でも、久しぶりの銀河は
実に美しく、壮大なのです。いつまた星に復活するの
だろうか。

勿来駅前のお茶店「となう」のマスターと、音楽の事で
初めて話をした。もの静かで、感じのいい人だ。将来に
つなげたい...

昨夜は8時半頃到着。3時間ほどねた。洗^目帯が
予想されるため 早めに帰ろう。

AM5:00. 国が会もちいい!

1994. 8/17~18 3日曇りの快晴

帰省(福島県梁川町)の帰り路、急ぎ、思いだして
(道が混んでいふたのどすから)いわきに来た。天気は快晴
で 草も花もいへん 快適な一晩を過ごして来た。子供は木星や月、土星などを
見せつけた。

田中さんに教えていた天の川^{天の川}の星は
不覚に寝てしまいい見ることができませんでした。
田中さんにはけり回も電筒をいふたのどす ボイラーの使
用法等いろいろ教えていたた^たま有難うございました。

1994. 8. 24-25.

晴れ時々曇り。

市村

一泊だけですが、リフレッシュ休暇という名目で、久しぶりの夏の休
にやってきました。月がとっても美しく、酒もよかった。

外は、もうほとんど、林の気配。今年は、シーズン入りが早そう
な予感があります。11月からの活動再開を楽しみにして、暑
い埼玉へ帰ります。

1994. 8. 27-28

快晴。月明かり

田中

今年の夏は天気が安定していて(平地での話)
星空が良く見えたように思う。

夏休み最後の日曜日だった今回、2晩とも快晴、
すばらしい星空を見せてくれた。

そのため、21日のサーベイを行う。といっても
街付近のこう仁にすぎないが...

●2晩ともすばらしいサーベイで、月や土星まで
のぞいてしまった。

1994. 9. 2-3-4 3日の夜は快晴、+18°C

田中

9月にしてはすばらしい星空に恵まれて、思う存分
サーベイができた。特に明け方の薄明と
銀河がクロスして、そのまん中にアロキオニガいる
構図は写真にしてみてもなかなかのものだったろう。
それにしても夜露はすごい。明け方はくつ下か
びっしり、またびく、足も高もぐっしりだった
のだった。

1994 9月17日 PM 4:00~5:00 再び(も)晴れにわか雨

白河は私用が有りまして寄らせて頂戴した。全く久しぶりです。何年ぶりかも
思い出せません。観測所も何れと変わってないで安心しました。
下流は本州を南北に走るセシ線の影響で思ひく有りません。(台風24号接近
づくりに伴います。秋か冬に家族で2泊したいと思います。1000円おこないます。
(ふりかきりせん)

ま
~~ま~~

1994. 9月 2日
" 10月 8~~~9~~ 15~16

田中

夏がらの積りでのんびりと山で過ごすことが
毎週の日課になった今~~年~~です。

しかし、天候は悪く、星空はもう1か月近くお目に
かかっている。

そろそろ観測所の周辺は紅葉が始まり、今月末
には見ごろになるかも(いはい)。

1994. 10 22-23 快晴 田中
ようやく冷えてくると山にも秋がやってきた。
夜の気温は10℃前後。夏の暑さに慣れた体
には寒く感じるが、-10℃まであと20℃も下がる
と思うと、覚悟はなくては...。
熱夏のせいで紅葉が早いようだ。総会の
ころに見ごろになるかも...

1994. 11月5日 AM 0:30 - 3:30 晴れ

久しぶりに星野写真を撮りたく有り、やって来ました。
ただ、少し湿度が ~~多~~ 多くなる。
これから北軽井沢 ~~方面~~ 方面に向かい、仲間と落ち合おう。
今夜はたぶん酒盛り。
総会には出席予定。

1994. 11. 5~6.

晴小→曇

市研

もう一日、天気がスレてくれたら、最高の条件だったのに、残念です。
さんと同じ頃に到着しました。天気はよかったです。体力が
ありません。眠くて。3:30にはダウン。丁度、要が出た
これ。幸い、とばかり。床に入ってしまいました。

朝は、快晴でした。午後には雲がかり。予報では、今夜は
下り坂ということなので、明日は早く帰ることにしよう。

どうせ、電話は、いったいどうしたのさほう？
家を出る時に、何度かけても話し中。途中でかけても同じ。
交換器機が壊れているのか、とも思いましたが、侵入者という
ことも考えられるし...

結局、故障らしいということで、朝、NTTに修理の話をいれよう
と早越して、念のため、かけ直したが、やはりダメ。朝食を
とって、もう一度かけ直したら、何と、かかるではありませんか!!
結局、NTTからも話が取り、しばらく様子を見てくれ、とい
うことなので、そのまま、再び寝てしまいました。

現在 4:30 P.M. これから、少し、本でも読んでみようかと思いましたが
総会は、6人くらいということなので、酒でも飲みながら、のんび
てみるという可ぬ。

1994. 11. 5 残雨 田中

パルーの日食がソバ、てす、戒田が直行してしまふ
とい、ても時差ボケのため途中で車の運転が不可能
となり、車の中で夜眠りまふ。そして、ようやく総会に
間に合いまふ。

今年の総会の出席者は11名のところ、市村、
田中の3名で、この女と、高橋各々が出席の
予定。

例によって、この女たちは今が紅葉のまっさかりで、
ななかなかに見ごたえがあります。例年と比べると
ちやと色がさえない気もしますが、まあ、こなたもの
で、しょうか?

今月から来月にかけては、パルー行きのおかげで、
ここに来る回数は減ることは仕方ないでしょう。

1994. 11. 5 ~ 1/6 <曇り> 雨

総会にや、2年ぶり。3ヵ月ぶりです。若工ん
で盛り上げ、211名かと思、てや、2名と互のて
が、何といたの、市村工ん一人、天眞もため
た、たので、2人で宴会をやりました。総会も
4人しか集まりず、ちやと残念です。次回会を
楽しみにしています。

1994. 11. 6 12:45 -

北軽井沢から5:20 6時間、距離350km、向こうは曇り
行程: 白河 - 宇都宮 - 日光 - 金精峠 - 沼田 - 野反湖 -
一尻焼温泉 - 北軽井沢

戻: 北軽井沢 - 唯永峠 - 前橋 - 佐野 - 白河 - 二
疲れた!

1994. 11. 6 12:50 ~ 新井

親子4人で2年ぶりの場所です。あ、雨が降っており、
紅葉、見物も出来ませんでしたが、今夜も時は、天体観測を
したいなあ! 子供ももう少し大きくなったら、泊まれると思います

1994. 11. 13 15:15 - 9:00 晴れ

年賀状に天体写真を使おうと思い、月没の頃に
到着した。い、ちや晴れてはいたが、湿気が多い。
寒冷前線が通過するはずだったが、ダメだった。

1994. 11. 13 ~ 14. <曇り> → 晴れ 市村

埼玉は、14日が県民の日で休みです。
今日(13日)は、午前中、テニス部の面倒見、(自分もや、て)、
7時頃到着。久しぶりに月をみました。
朝(14日)は曇り。1日中、読書と、時間つぶし。
夕方、西天をや、て、夕べから帰ります。
月末、お会いしよう。

1994. 11. 26-27. 残<曇り> 田中

" 快晴

久しぶりの秋の空、ま、た、抜けるような観測夜と
なったが、本日は日曜日、明日の仕事のためにも、
午前様にならぬように帰らねば。
しかし、ここ、昔をまた、撮って
いい、今夜はせめて、P/LI-CI、は
撮って帰らねば...

94. 12. 3~4

晴れ

年賀状用の写真を撮りに 再び来ました。23:35着
新潟に波浪自警報が出るほどの冬型ではあなが
いまいち ~~又~~又々が悪い。風も弱い。どう写っているか
気になる。 9.10

94. 12. 4~5

<曇り>曇り<曇り>曇り<曇り>曇り 市村

今回は、あぐりあわせが、悪いのが、観測しようとする時雲が出て
きて、仮眠している間は快晴、朝方ヤツとすると雲が出てきて雪
と化してしまひ、何となく何となくおぼろげにしました。

仕事があるので、急いで帰らなくちゃと思うので、雪降んで
すよ!! そろそろ冬仕度です。自働車の人は気を付けて下さい。

1994. 12. 6~7

快晴 -2.0°C

田中

ここ2-3日あまりにも天気が良いので、年賀状が
できてきました。

今回は20ヤシキリ5ユニットを購入したので、露出
時間のチェックのためです。

あとと、(日曜の夜)千葉十九里(夜)試写したとこ
ろ、ベスト露出時間はなんと30秒!

はたして11ヶ月のこの夜空ではどの位まで近づく
のでしょうか?

それにしても、田中カスターの夜間照明が明るく、
天幕の川は渠に見えらるの位か...

94. 12/10~

晴れ

市村

夜8時到着。毎週のように誰かが来ているのに、会いませぬ
不思議といはれど、とってモフシキです。

田中さん、また物持ちになりましたね。うらやましい。
外は晴れているが、上弦の月が出ていますので、ひと休みしてから
始めることにしよう。(これをやると、夕暮なんだよわ、今年は...)

今年も冬休みまで、来水そうもないので、じっくりと見たいと思
うので、明日から下り坂と聞いて、残念です。(10日、9:00 PM)

仮眠して、午前2時頃から始めたが、予想通り、3時半頃から薄雲が
広がり、夕暮になってしまった。例年、朝方には「晴れる」ということ
になっていたが、今年も、ちよと、マイってしよう、というので、今年も、
静養に来ただけ、という事になった。

外は、ドン曇り。これから、さらに下り坂だと思われる。あとは、天気予
報と相談して、予定を決めることにしよう。(11日、10:30 AM)

雨が降ってきたので、帰ることにしました。(11日、11:30 AM)

99.12/31 ~ 95/1.

市村.

新年おめでとうございませう。
(ちよと実家へ、あいつに送ります)

元旦の捜天は実に気持ちいいほど地平線まで快晴。
又しばらく、ゆきの本当の空でした。ヒエと見るのがもったいなくです。

95. 1/2 ~ 6

市村.

旧年のうちに、実家へ顔を出して(干菜を送った)義利を果して
きました。1時間の教時間1か、居残りなんて、何と薄情な息子
なのだろう。

今回は、あまりにも勉強しない(と、父親が思っている)息子を
連れ出させてきました。気持ちには複雑です。将来のために、ふん
と思、2、教時間、勉強をエセするために連れ出してきたが...

父親業も、この大変だ、ということですね。(所員の皆さんは、これからです)
そんな、私の気持ちのように、天気は下り坂。今日は、外雨。(4日、12:00)
それにしても、今年の冬は、例年にくらべて暖かいと思う。こういう年は、
2月から3月にかけて、大雪にならたりするので、こわいですね。
今年は、少し、心をひきしめて、頑張る、みようか、と思います。

1/7 ~ 9.

いよいよ、息子を家に連れ帰る、と、ヒエと仕事してから、出直に帰りました。
睡眠不足のせいか、7日の晩は、少しかよわかったが、8日夜は快晴に
なり、一日中、眠る、と、せいもあつ、快調なもの。年賀状の返事と
書い、奥カテストを作、と、帰ります。

1/9 朝方は、1:00 ~ 雨。全く!!

1995. 1. 2 ~

田中

1月2日~3日	快晴 → 時々くもが広がる → 快晴	-4.0°C ~ -6.0°C
3日~4日	夕曇 → 晴れ向が見えよ → 夕曇	
4日~5日	雨 → 雨 → 朝晴れ向が快晴	-1°C
5日~6日	一脱中快晴	-1 ~ -2°C
6日~7日	時々重雲が通過し 結局夕	
7日~8日		

おけましておめでとうございませう。
「ゆき」も12年目に入って、変化したものも多くなり
ました。住環境は整ったものの空の明るさは
他になります。とはい、でも、私の後半生はこの
銀世界とともに過ごすてきまいたので、心やす
いかなさそうです。

さて、今回は新兵器 20ヤキ F1.5 ユニットを
持って来ました。対して、こいまで、16ヤキ ユニ
ットは、どう思、た、て、しょうか? たとえは、
田舎の優秀な生徒が、都会からやってきた
ハイヤキスな転校生を迎える気分、て、しょうか?

結果は、というともうす、かり参、て、しまいました。
F1.5 という明るさ、完璧なま、の、星のイ
。カラーによる星の歪みでの再現性。
もうす、かり脱帽、て、しまいました。
さらに、4x5 フイルムを使う ユニ
でも星像の歪下がなく、使、て、さうです。

1995. 1. 28-29-30-31

田中

新月にはったので、今回はまた朝方のみのカーバイを
するつもりでやってきま1日。

今年の新彗星は19年の隔りのがまた1つ。今年は
新彗星は11つくらい出現するでしょう。

さて、夜中に蓄いたので、やはり風呂に入って寝るべし
と思、~~風呂~~シャワーを入れたら、給湯管が破裂して
お湯が吹き出しているではありませんか。びっくりしたほう。

結局、西乙管材を買いに行くと、ハニダ付修理をほ
1日か。この寒さには銅管も参ったようです。

そこで、1月~2月間は^{給湯}ヒーターを「カイズ」に
おきたいと思、ボイラーと給湯管の水抜きはいま
まで通り行て下さい。

ところで、市村さんが言っていたイノシシを発見しました。
食事に自慢に行く途中で、山形さんちの近くで、国道
118号の横でエサさがしている彼を見たのです。
車を止めたところ、歩いて、観測所側の森に入って
いきました。

それにしてもけさ(29日)はここでの最低気温 -8°C
にはった。この他になると動きもの3つなり。何をやって
いるかわからずはくはる。体には気をつけよう。

市村さんの水などすべて凍っていたので、破裂防止の
ため、流しに置きます。

1995. 2/4-5.

市村

少し、時内を作業。休養が充分、やってきました。
天気予報では、<曇り→雨の雪だったのですが、
0時頃まで、快晴でした。
あつ、寒いので (-9°C)、風呂にも入らず、帰ります。

昼頃(2/5)、地主さんが見えました。車が見えたので、
来てみた。と、なごらした。
今度は、3月末にのみと思、今年後半にカエ
入れたらと思、います。

1995年 2. 19-20.

雪→晴

田中

今夜はスピーカの食があるため、せむや、てみたいと思、
11日曜に仕事をして月曜 休みとしてスリッパにやって
きました。

例年だと、今夜は雪が大変で、カーキを蓄けて、夜中
の12時に蓄くか、心配で、作が、雪はまったくなく、
少々、ひょうは投げつけてしまいました。

しかし、蓄いたと、すぐ、雪になり、スピーカ食のため、お
て、田ん第2小学校まで、降りてゆきました。が、
ビデオの15倍では、月はピントを出して、くれず、結局
失敗、観測所に戻って、出現してから、のカット
を少し撮れただけでした。

今回、ビデオ取付装置を購入したので、これが、
月のビデオ撮影もできるように付きました。

今夜はリュミットのピント出しと、西空のカーバイを
ジ、やって帰ります。

1995年3月1日~2日

快晴→(夜) -1.0°C

田中

また新月となって、大雪の東京を後にしてやってきました。今回も明け方の空、特にP/プロセルシの検出を試みるつもりでしたが、夕方から快晴だ。空がAAI寸前に雲が広がってはいりやすか2ライン1かできます。

今年は11ヶ月より春の訪れが早いようです。幸いF1-2の使用は1回のみ。屋根の雪降しはセブズにすみきります。

さて、私、このたび、東京を離れて「川崎市民」になることになりました。

この空も10年前に比べると明るくなり、あと10年でどうかどうかバロ乙でもが体の動くうちに世界を相手に「カシニツ」1たいと思えます。

新宅は四時夕刻のすぐ上で、6~7月頃引越してくる予定です。

※ 金庫を一時持って帰ります。

※ ボイラー室の中の給湯用バルブは使用後締めづら(左側)

いので(熱のため)締めなくて良いようです。

(給水用バルブ)(右側)は必ず締め下さい。

※ 井戸の水はこの時期、だいぶ減っていて、浴そう一杯分位しかはさります。水の出し遅くはた、モーター保護のため水を止めておいて下さい。

1995 3 5~6

ベク曇 田中

春の雪が東京を2度目の白化粧に1た2日後、この雪もはくは、ただ3つとあって、日曜日に仕事が終わった後、やってきた。まだ、20センチほどの雪で、今後初めての真夜中の雪降し、をやることになっていった。

始めた12時(空は快晴だ、たが、降る)1時頃にはす、カリバタ曇について、33mm低気圧が関東を通過するかもということだったの。その後のためだ。

結局、2時3時と目ざし、トして降ってきたが、雪は取らず、星は良いなかった。

今回は、花粉症のためもあって、目一杯夕刻の4時まで、眠ってしまった。このため、くり眠ると世間から遠く離れてゆく気がする……。

今日は、廿六、夕刻、衝の付近2ラインでも掃って制しものた。

1995 5 5~7

5日 ベク曇

6日 晴 気温7°C

田中

久しぶりの観測所だ。山の緑はすっかり濃くなって、星の季節が遠のいたことを感じる。それでも6日夜は、1ラインのサーベイができた。

1995 5 20-21

田中

ようやくリンゴの花が咲いた。植えてからもう3年以上にはなるはず。さて今年はおいしいリンゴが食えるかな。

自定の工事のため、雨の予想の中をやってきた。もう6月も近いというのにここは寒いこと、また"ストーブ"が必要だ。

1995. 5 27-28

田中

夕13時に土曜の夜が晴れたので、20kmの4kmのピント出しを行った。

天の川は良く見えていたが、下の方はモヤッとしていて見えない。また、雲のなくなった土星は実にぶるぶるしく明け方の空に上ってきた。

1995. 6 5-7

田中

我が家の新築工事の打ち合わせや、工事のため、2泊ほど来所。

空の方は相変わらず悪くて、もう夏のような感じ。山一面に霞がかかり、夜には2晩共雨だった。

もう、がはりの向、星空を見ていない感じがした。(お終り)

1995. 6. 10-12

土曜日は快晴だ、たさしいが、ここに到着した時はくもり。今年から梅雨入りは期日をはずり、言わばいいことになって、もうとくに梅雨入りしていいさ。

ここは2月向とも霧の中、梅雨の晴れ向が待たしい。

1995. 6. 18-19

田中

今回も観測所の周りはいつも霧の中。これでは部屋の中がカビた"だけ"にはなるのは仕方ないから、そろそろカビ取りもなくてはならなさそう。

1995. 6. 24

19:30頃着、905を取りに来ました。

そして田中 ~~田中~~ についてびっくり。

~~田中~~ おおどろかせてしまってごめんね。というわけで、今夜帰ります。

1995. 6. 21-25

田中

相変わらず、自定の工事のため来所 "だ"い"が"出来上って来た。

空の方は6月24日(土)夕方、夕13時に晴れたが、連日の工事で、空を見る気がない。

21時に寝て、6時に起きる健康的な生活を ~~送~~ っている。

1995. 6. 29-7. 4

田中

いよいよ我が家の完成も近づいてきた。7月20日に引越の予定だが、毎日雨のため工事の進行が遅れている。はたして予定通りいくかどうか未定。今回の滞在でも星空は1夜だけかうじて見えた。

1995. 9. 22~24 <曇り→雨

市村

今回は棚倉でテニスをすること。"ほうき星"でドライブを
含めることを目的とした。何れも天気もそれなりで予定通り。目的を
果たした。24日は台風の影響で風が雨なので早く帰る
ことにした。(今日)

その中にも、田中さん!! おおとびごさります。そして残念でした。

でも、行方不明、周期彗星を再発見した事実はすばらしいです。
11月への転居してすぐの快挙。テニスに恵まれるテニスも多くなった
はずです。次回は単独発見と、いきたいと思います。

私も、11月からは本格的に捜索したいと思います。

1995. 10. 10 曇り

新井 他 他

"ほうき星"で秋のピラフを食べた帰りに立ち寄りました。
今日撮った彗星のネガを見せてもらいましたが、尾が大きく、リッパが
彗星でした。今度、田中彗星の写真を見ておね!

新井 他 他

10.10.29

1995. 10/22. 24 <曇り

市村

テスト期間中に休みをとり、問題作成が完了。ドビー彗星を
観望しにやってきましたが、残念ながら曇りになりました。
まだ、それほど天気が安定しないようでは、11月になら
ないとは、残念です。

1995. 11/4~6

市村

ドビーコを見るためだけに、深夜も頑張りました。
テニスの新人戦がおわり、ようやく、テニスも、ヒマができたので。
短時間ではありましたが、一月見ようと思ってきました。
(これまたヒマを同伴してあります)

黄道光が天頂にまで達するすばらしい天気に恵まれ、
朝夕、薄明の中、ようやく、ドビーコを見ることができました。
ヒリヒリです。今日は、24日。
昼から、学校で、テニス部での子供の、急いで帰ります。

1995. 11. 10 ~ 11. 12 (晴)

三日月を過ぎた間(存心)の星見というよりは海で遊ぶ
ほうき星、2や2やと来りました。(家の方まで)。11日は息子と
2人で、勿来漁港で釣りをしました。小土存「あいつめ
いびきしか釣れませんでした」息子「喜んでいよう
した。ドビーコ彗星を田中さんに見せてもらえると喜んで
いたよ。小名浜の帰りにラッシュに巻き込まれ、夕方6時
過ぎに着いたよ。もう見られなく存心です。残念です。

地味線は大人でいい

来週の総会にも来予定存心で、その時見られるのを
楽しみにしています。

田中さんには30cm主鏡の使い方を教わっている時に、主鏡
の赤道儀のコンセントがショートして使えなくなりました。
申し訳ないかもしれませんが、田中さん修理が早くお願ひ申し
上げます。(ヒマを同伴してあります)

11/9 ~ 11/10

総会があった一年に一回、いよいよ来季の生草が来た。
 天候、東京は昨日は一時雨、天気予報も9日は今までのように
 全く諦めたものの、勿来にフリと、毎時と星が生きているので。
 スーパーに立ち、夕クシーと新しく自カカ（まだ之をどしどしからゆきか）
 とにかん、ほうと星、まじり来季の生草が来た。
 奥のまじり大会の12、早速、田中さんの車に視測所へ、ここから
 視測所（今と来季、実地、洋い霧。双眼鏡を持って申
 田中さんのとておとの視測地実に移動、田中さんは視測の出。
 へん、木のつぼみは私にやらせるとは生草を吹いて、天の川、
 星々、もう、これで満ちた。小高い山頂と星とにたてて4人で
 揚子笑つた。草のうらやまに。田中さんのお院に泊り
 11日と12日、聖朝は山頂の紅葉を見て散歩、いよいよ来た。
 ありかえりていいた。

11/13 (水) 快晴

年賀状用の写真を撮りに来た。対象は、来季の
 枝にちなんでおうし座。天気回は冬型。次の日
 会社を休めない日に限って晴れるのです。点灯の行ないか
 午前0時以降に降りた。

11/16 ~ 17

ひさし3つに変わった。
 ちびとつかひきみです。
 天の川、星を見るの2ついいですわ!
 まじり来季

11/15, 16, 17 (金 - 日)

市村

しし座流星群を見にやってきました。
 最近、秋夕へ行くことが多いので、なかなかこちらへは
 来られません。忙しいと、つい近場へ行ってしまうので。
 この一年で、視力が急激に悪くなってしまい、眼視には不安
 があるので、さすがに15cmの双眼は、いいですね。
 次回は、小たご座流星群の頃は、期末の採点をかねて
 来ようと思います。

12/13, 14, 15 (金 - 日)

市村

小たご座流星群を見にやってきました。
 最近、秋夕へ行くことが多いので、なかなかこちらへは
 来られません。忙しいと、つい近場へ行ってしまうので。
 この一年で、視力が急激に悪くなってしまい、眼視には不安
 があるので、さすがに15cmの双眼は、いいですね。
 次回は、四分儀流星群の頃は、新年の事始めをかねて
 来ようと思います。

STITCHLESS



6号 179mm×252mm / 極東ノート株式会社(O.U.)5A
このノートの中紙は、保存性に優れた中性紙(75g/m²)を使用しています

